

いしおか

# 市議会だより



第2回定例会

森林機能緊急回復  
整備事業を可決  
3ページ

一般質問 議員14人が登壇  
4~8ページ  
議案質疑 9ページ

常任委員会の活動 10~11ページ  
請願・陳情の概要と審査結果 12ページ

市内小・中学校18校の  
**耐震診断実施へ**

2ページ

第15号

ぎかい  
広報紙

平成20年8月1日発行

## ●一般会計補正予算

### 小・中学校

# 耐震診断委託料を可決

六月に開催されました第二回定例会では、市当局から八議案の提出があり(※左ページ参照)、すべて承認・原案可決となりました。

その中の主なものとして「平成二十年度石岡市一般会計補正予算(第一号)」があります。歳入歳出の予算の総額に二億二千七百六十九万六千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ二百六十五億八千七百六十九万六千円とするものです。このうち、歳出の主なものとして、「小・中学校施設の耐震診断委託料」があります。

当議会において、小・中学校施設の耐震化の必



要性については、常に論じられており、石岡市の抱える緊急の課題として、解決していかなければならないものと認識しています。先の議会において「石岡市立小・中学校の学区の見直しを含めた統廃合整備計画策定を求め、耐震補強整備の必要性についても論じています。

今回の補正予算の内容は、当初、市内三校の耐震診断を予定していましたが、市内全部の小・中学校の校舎・体育館など施設の安全性確保の観点から、他の診断対象校(十五校)についても同様に診断を実施するというもので、そのための追加費用として、「耐震診断委託料」を「小学校費」九千六百二十五万五千円、「中学校費」三千三百五十七万二千円と、それぞれ計上しています。今回の可決によって、今年度中に診断対象校全て(改築を予定している柿岡中学校・東小学校を除く)を診断することになり、これによって施設の耐震

性の判断と、耐震補強のための工事費が算出されることとなります。

この診断結果は、今後の整備方針を決定するための、限られた予算の中で、効果的に補強・改築を進めていくための一つの指針として、有効に活用されることとなります。これから、補強・改築と

非常に多額の費用が必要ということになりますと、早期実現に向けて尽力していきたいと思っております。

性になったり、現在、国でも過日の中国四川省大地震を受け、改めて学校施設の耐震化の必要性を認識し、市町村に対する補助金などの財政支援策を検討中とのことです。当議会としまして、全ての学校の安全性の確保のため、今後も引き続き市の動向をチェックし、

### 市内小・中学校の状況

小・中学校名	最も古い校舎・体育館の建築年度( )内は20年度現在の築経過年数	耐震基準の新旧	診断対象校
1 東小学校	校舎 昭和35年度(48年)	旧	
2 三村小学校	校舎 昭和41年度(42年)	旧	○
3 石岡小学校	校舎 昭和43年度(40年)	旧	○
4 府中小学校	校舎 昭和43年度(40年)	旧	○
5 柿岡小学校	校舎 昭和48年度(35年)	旧	○
6 北小学校	校舎 昭和49年度(34年)	旧	○
7 南小学校	校舎 昭和51年度(32年)	旧	○
8 関川小学校	体育館 昭和51年度(32年)	旧	○
9 東成井小学校	校舎 昭和51年度(32年)	旧	○
10 杉並小学校	校舎 昭和53年度(30年)	旧	○
11 吉生小学校	校舎 昭和53年度(30年)	旧	○
12 高浜小学校	校舎 昭和54年度(29年)	旧	○
13 瓦会小学校	校舎 昭和54年度(29年)	旧	○
14 園部小学校	校舎 昭和55年度(28年)	旧	○
15 林小学校	校舎 昭和56年度(27年)	旧	○
16 小幡小学校	校舎 昭和59年度(24年)	新	
17 恋瀬小学校	校舎 昭和61年度(22年)	新	
18 葦穂小学校	校舎 平成5年度(15年)	新	
19 小桜小学校	校舎 平成6年度(14年)	新	
1 城南中学校	校舎 昭和37年度(46年)	旧	○
2 柿岡中学校	校舎 昭和40年度(43年)	旧	
3 有明中学校	校舎 昭和41年度(42年)	旧	○
4 府中中学校	体育館 昭和45年度(38年)	旧	○
5 石岡中学校	校舎 昭和54年度(29年)	旧	○
6 国府中学校	校舎 昭和58年度(25年)	新	
7 園部中学校	校舎 平成3年度(17年)	新	
8 八郷南中学校	校舎 平成11年度(9年)	新	

※この表は、耐震強度の順ではありません。また、各学校の耐震強度の順は、築経過年数の順と必ずしも一致するものではありません。

※旧耐震基準とは、昭和56年以前の耐震基準のことであり、それ以降を新耐震基準として区別しています。

※柿岡中学校と東小学校については改築を予定していますので、診断対象校から除いています。

新規事業

# 森林機能 緊急回復整備 事業を可決

一般会計補正予算



今回の補正予算で新たに「森林機能緊急回復整備事業」が計上されました。

この事業は、今年の四月から茨城県において新たに導入された「森林湖沼環境税」を財源としています。今回、計上された補正予算額四千五百九十三万円については、補助率十分の十の全額補助による事業となります。茨城県間伐促進全体計画調査の結果から、三年以内に間伐を行う必要がある管理放棄された森林のうち、洪水防止や水質浄化などの水源かん養機能、または山地災害防止機能が高い森林を対象に行う間伐及び作業道の開設等に助成されるものです。今回の森林機能緊急回復整備

事業の対象となる当市の森林は、民有林のうち、先の調査結果から四つにランク分けされた中で、緊急度が最上位と判定された森林が千二百一十餘。さらにその中で、事業の主旨である水源かん養機能、または山地災害防止機能が高い森林を優先し、実施計画を立てる予定です。今年度の当市の整備予定面積は百四餘となります。事業期間については、財源が「森林湖沼環境税」であることから、現時点で五年間継続されると思われませんが、現在のところ未定となっています。

## 市長提出議案の審査結果

### 第2回 定例会

\*第2回定例会（6月3日～6月18日）で審査した市長提出議案の審査結果は次のとおりです。

議案第57号	専決処分に対し承認を求めることについて（石岡市税条例の一部を改正する条例）	承認
議案第58号	専決処分に対し承認を求めることについて（石岡市都市計画税条例の一部を改正する条例）	承認
議案第59号	専決処分に対し承認を求めることについて（石岡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認
議案第60号	平成20年度石岡市一般会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第61号	平成20年度石岡市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第62号	平成20年度石岡市老人保健特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第63号	石岡市営住宅管理条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第64号	市道の認定について	原案可決



徳 増 千 尋

勤統十年表彰  
全国市議会議長会から



小松 美代子

勤統十年表彰  
全国市議会議長会から



久保田 健一郎

正副議長勤統四年表彰  
全国市議会議長会  
茨城県市議会議長会から

このたび、左の三人の議員が地方自治の伸長発展と市政の向上に貢献した功績に対して贈られる永年勤統議員表彰を受賞しました。

## 永年勤統議員表彰

# 観光行政について

## 広域的な観光を目指して



あきら 晟  
ぐち 山口  
やま 山

**問** 石岡市には多くの文化財、すばらしい自然があり、そのような財産を、観光資源として有効に活用すべきと思います。そこで、①本市の観光対策についてどのような考えか。②観光対策について新しい具体的な方策があるのか。③広域的な観光への取り組み。④広域的な観光のためのバスを出すか、市内観光施設を周遊するバスと各施設共通券がセットされた一日フリーバスを出す、などといったことをする必要があると思いますが、これらについて伺います。

**答** 観光対策として、観光客が求めるニーズ

の多様化に合わせて、見る・体験できる・食の観光など有機的に連携させ、特色ある観光を推進していきたいと考えます。具体的な方策として、旧朝日小学校を活用した体験型学習の推進を図っていきたいと考えます。広域的には、周辺市町村で協議会などを組織し、協力を図りながら、官民一体となつて取り組んでいきます。四丁目ですが、広域観光のための周遊バスを運行することで、観光客の利便性は確保できますが、財政的に大きな負担が予想され、かなりの調整が必要になります。また、観光施設の共通入場券については、各施設の協力によるメリットも出てきますので、連携を図りながら推進していきたいと考えます。

**その他の質問事項**  
●広域的なまちづくりについて



りょういち 村 良一  
かわ 川

**問** あつたら便利なのに、なぜ信号機のある交差点に交差点名称が表示されていないのでしょうか。以前、当市で設置した案内板など一基約三百万円かかっています。これは土台・ポール・看板とすることで非常に高額になっています。そこで、

# あつたら便利になります 信号機付交差点の名称について

信号機に看板をかければ、費用も安く、目につくものになり、また、ナビにも交差点名が表示され、道案内もわかりやすいと思います。交差点の名称は、地元意向などを考慮して設置できるので、旧町名なども付けられます。さ

らに電柱広告の巻き看板も合わせて利用できると思いますが、どのようにお考えか伺います。

**答** 交差点信号機に設置される交差点名称の表示板ですが、警察では、道路管理者の要望、協議により設置を許可しているとのこと。最近のカーナビ普及率を考えると、観光などで石岡を訪れる方々にとって、大変便利な道案内としての効果があると予測されます。本年度から、幹線市道の交差点信号機に名称表示板を設置していきたいと考えます。また、ご指摘の電柱を活用した案内表示板につきましては、一部活用しているところもありますので、調査して、関係機関と協議をしていきたいと思

**その他の質問事項**  
●「石岡市のメールアドレス」について

# 石岡市の医療制度の充実について

## 救急搬送の現状と対応



ただし 関 忠 男  
ぐち 山口  
せき 関

**問** 医療制度の充実、特に救急医療の充実という点から、当市の緊急患者の搬送における、市内・市外の病院の割合について。緊急の場合、どのような形で搬送先を決定するのかについて。また、宮城県の救急搬送についての調査の中で、通報から現場到着が宮城県では六分五十六秒、全国平均では六分四十五秒、通報から病院に行くまでは、宮城県では三十四分五十四秒、全国平均では三十二分四十九秒という結果ですが、当市の現状と、どのような対応を図るお考えか伺います。

**答** 緊急患者の搬送については、市内の病院

へ搬送した人員が千六百十一人で全体の約四〇割、市外が千七百五十二人で全体の約六〇割です。搬送先については、患者からの希望、かかりつけ医及び救急隊の観察による確かな医療機関などへ、受け入れ可能との返答を待つて搬送しています。患者の状況、近隣の医療機関の状況などで収容できない場合、遠方になることもあります。搬送時間は通報から現場まで平均七分、患者の収容から医療機関までは平均三十四分です。今後は、現場待機時間を少なくするために、研修などを通して、患者の観察力を向上させること、また、土浦地区メデイカルコントロール協議会などと協力し、スムーズな医療機関の受け入れ体制確保に努めます。



せき 関 あきら 昭

**問** 川又地区に積まれた残土は、全く放置されたままの状態である一方で、周辺の立木の立ち枯れは進行し、見るも無残な様相を示しています。当市の対応として、①前回の定例会後の経過について。②残土の撤去及び損害補償に向けた市の対策について。③この問題について、どうして告訴しようと思わないのかについて、伺います。

したいと考えます。土砂搬入業者との面会は、相手方の健康不安から、現在まで実現していません。今後、関係部署と調整し、施工業者等に、土砂の撤去を強く求めていきたいと考えます。損害賠償については、被害状況の調査をもとに、施工業者等への補償要求、指導等していきたいと考えます。また、告訴については手順があり、今回ある程度の期間が経過したことから、初めて条例違反事案として、措置命令を視野に入れるという段階になるかと思えます。

**答** 四月三日に半田区長立会いのもと水を取し、水質分析を行いました。結果、有害物質は一切検出されませんでした。今年度は、あと二回ほど実施する予定です。土壌検査についても実施

その他の質問事項

- 朝日トンネル計画に伴う八郷地区の乱開発防止について
- 旧朝日小学校跡地の利活用について

川又地区における残土の不法埋立てについて



しみず 和 幸

**問** 二〇二一年度からの英語必修化を見据えた、当市の英語教育への取り組みと、話せる英語、使える英語習得のため不可欠のチーム・ティーチングを行うための教員、指導助手などの人材の確保や考え方について。また、不登校やいじめ、育児放棄など、深刻な問題を抱える家庭の保護者や子供に対し、社会福祉などの専門的な見地に対応するスクールソーシャルワーカー（SSW）についての見解と、今後の取り組みについて伺います。

の外国語の時間は、平均で六年生約七時間、五年生約六時間、四年生約六時間となります。各校ごとに教員の実情や、方針などの違いから、時数にばらつきがあります。今後の必修化に向けて、外国語活動に関する職員研修の充実、指導計画や教科計画等の整備、担任や教材など教育環境の整備が必要となることから、国や県と一体になって取り組みたいと考えます。また、SSWは、本年度から県内五市町村が委託を受け調査研究をしています。本市では国の委託を受け、内容的には同様の不登校やいじめなど学校が抱える問題についての防止、早期発見、対応のための事業に、昨年度から取り組んでいます。今後は、この事業から出た課題に取り組み、拡充していきたいと考えます。

を抱える家庭の保護者や子供に対し、社会福祉などの専門的な見地に対応するスクールソーシャルワーカー（SSW）についての見解と、今後の取り組みについて伺います。

その他の質問事項

- 自主財源の確保について
- ごみの収集と有用資源のリサイクルについて

教育行政の今後の取り組みについて

小学校英語必修化  
スクールソーシャルワーカー

**答** 今年度、各小学校



おの 孝 男

**問** 石岡市では、今年四月から後期高齢者医療制度が導入されたことに伴い、国保加入者の七十五歳以上の方の人間ドック助成金がなくなりました。私は、年齢によって助成を区別すべきではないと考えます。まして、早期発見・早期治療を徹底し、医療費を抑制する観点からも、年齢に差をつけることなく、助成金を支給することが、本来の姿だと思います。これまでのように、三十歳以上なら、だれでも希望すれば助成が受けられるようにすべきと思えますが、どのようにお考えか伺います。

ドックの助成金について、厚生労働省の全国調査では、平成二十年三月まで七百二十三市区町村が助成していましたが、四月以降も助成する団体は百四十一と、約二割に減少しています。県内では、二十二市町村が助成していましたが、今年度はつくば市や土浦市などの九市町村となっています。人間ドックなどの健康診査は、予防医療の観点から、早期発見・早期治療により医療費などの抑制を図ることができると思われます。当市としても、これからも高齢者の方が住みなれた地域で安心した生活を送れるよう、今後十分検討していきたいと思えます。

**答** 七十五歳以上の人間

その他の質問事項

- 総合窓口の整備について
- 不法盛土対策について

人間ドックの助成金について  
今までもどおり助成すべき

# レジ袋の有料化について

## 温暖化対策・循環型社会の実現に向けて



ゆき しのぶ いのぶ 桜井 信幸

**問** レジ袋の有料化について、本県でも常陸太田市、笠間市、ひたちなか市で実施されており、全国的にもその機運は高いようです。京都議定書による温室効果ガスの排出削減目標に対して、住民と行政、事業者の連携で、レジ袋削減運動として、マイバック持参によるショッピングを推進することで、地球温暖化対策、循環型社会の実現、あるいはごみの減量化を目指してはいかがでしょうか。全国市長会でもレジ袋有料化の方向で会議がまとまったと聞いています。当市でも環境保全の啓蒙の一環として、レジ袋の有料化が実施できないものか伺います。

**答** レジ袋の有料化については、現在、県内三市で、その各市にある事業者が、有料化を実施している状況です。レジ袋の有料化に関しては、何より大量にレジ袋を取り扱う事業者が主体となり、実施することになります。本市においては、生活環境の保全に資することを目的とした、石岡市ごみ処理対策推進協議会が設置されています。さらに市内十二か所のマイバック持参推進店舗がありますので、それぞれと協議をしまして、ご提言のレジ袋の有料化について、各店舗に働きかけていきたいと思えます。

### その他の質問事項

- 朝日峠等の道路における騒音対策等について
- 市内の主要幹線に愛称をつけ、案内板を設置してはどうか

# 中心市街地の活性化について

## 駅周辺整備・複合文化施設はどうなるのか



まさひろ しま 前島 守雅

**問** 中心市街地活性化について①どのように考え、また、その方策など、どのようにしていくのか。②駅周辺整備の内容・スケジュール・財源について。また、駅周辺整備基金の現在高と積み立て予定について。③複合文化施設が凍結との報道の真意と、今後、神栄跡地をどうするのか。これらについて、今後、具体的にどのようにしていく考えか伺います。

**答** 中心市街地活性化は、本市の重要な課題と認識してまいります。そのため、中心市街地

けでなく、市全体の活性化という広い認識で、暮らしの視点に立った中心市街地活性化基本計画を策定し、その施策を推進してまいります。駅周辺整備は、人道跨線橋エレベーター設置事業に、今年度から取り組んでまいります。駅周辺整備の財源としては、「まちづくり交付金事業」が最も有効ですが、補助事業への地元負担も多くなることから、基金の積み増しが必要です。駅周辺整備基金の五月末現在高は、約五億四千三百万円であり、今年度の積立額は約千二百九十万円を予定します。基金の積み増しについては、財政状況を見極め、検討したいと考えます。複合文化施設は、合併特例債事業で学校耐震化を優先させるため、先送りしたいと考えます。

### その他の質問事項

- 旧有料道路料金所跡地の有効活用について

# 魅力あるまちへ 当市におけるフィルムコミッションの取り組みについて



いちろ しばやま 市塚 重

**問** ロケ誘致は、費用もあまりかからず、継続的な活動もでき、また、市民活動や地域づくりに効果が期待できるという話があります。魅力ある観光地づくりとして、当市のイメージアップのためにも、豊かな自然を活用するフィルムコミッションを推進していかねければならないと考えています。この取り組みについての考え方を伺います。また、フィルムコミッションは、茨城県も大変力を入れているようですが、県との係わりについて、当市の考えを伺います。また、今後推進していく場合、担当部署に人員を配置するといった考えがあるのか伺います。

**答** 当市では商工観光課を窓口として、県を通してのロケ依頼や、映像制作会社からの問い合わせに対して、情報の提供や地元の調整などに協力してまいります。当市のロケは、他の場所の代替えとして撮影されることがほとんどで、当市を直接PRできる状況ではありません。当市が多くの撮影に利用されることは、イメージアップにつながるとは思いますが、経済効果については、さらなる研究が必要です。ご指摘のとおり、人員などの問題はありますが、フィルムコミッションについては、近隣や先進地の状況なども研究し、対応していきたいと思えます。

### その他の質問事項

- 石岡市の魅力あるまちづくりについて
- 旧朝日小学校の有効活用について



かない かずのり  
金井 一憲

## 健全な財政運営のため 当市の企業誘致について

**問** 現在は、柏原工業団地の休業企業について

**答** 私の特論でもありますが、健全な財政運営のためにも、基本となる収入の確保についても、やはり一番は企業誘致であると強く思います。そこで、当市の企業誘致の計画、具体的な取り組みについて伺います。また、当市の立地条件は今後スマートIC、茨城空港など予定され、他の地域と比較しても、優るとも決して劣りはしないと考えます。そこで、販売できる工業団地を持つて、優良企業との交渉に当たることが大切ではないかと思いますが、その対策などについて伺います。

- その他の質問事項**
- 小中学校の校舎等耐震化・統廃合について
  - AEDの設置状況について
  - 市民との協働まちづくりについて他

て、価格面での情報交換や販売条件を詰めています。また、茨城県や建設業者などから情報収集をしています。進出を考えた企業は、スピードが一番、次が優遇税制とのこととです。新たな造成だと時間がかるため、既存の工業団地、造成地を望んでいます。また、当市には工業用水がありませんので、水をあまり使わない製造業や物流関係が、ふさわしい企業ではないかと考えます。企業誘致について、ご指摘のトップセールスが効果を上げていくことは、認識しています。厳しい状況ですが、何らかの打開策を調査、研究しながら、企業誘致に努めたいと考えます。

## 道路の維持管理について 朝日峠のドリフト・ローリング族対策は



しまだ さとる  
嶋田佐登子

が、その対策ありましたが、その対策

行、住民の理解、協力などクリアできれば、夜間交通規制は可能ではないでしょうか。③※1ハンブ撤去について。④コミック本の影響への対応について。⑤ギャラリーへのひき逃げ事故がありました

**問** 地元住民に多大な迷惑をかけている朝日峠のドリフト及びローリング族への対策として、  
①警察との協議、地元住民への話し合いなど行われたのかどうか。②朝日峠は、生活道路であり規制は難しいとのことですが、他区間でも実施されており、通行許可証の発行、住民の理解、協力などクリアできれば、夜間交通規制は可能ではないでしょうか。③※1ハンブ撤去について。④コミック本の影響への対応について。⑤ギャラリーへのひき逃げ事故がありました

**その他の質問事項**  
● 教育行政について

**答** 警察との協議について、生活道路であり規制は難しいとのことですが、地元住民との話し合いは、現段階では実施していません。夜間交通規制について、道路管理者として生活道路をふさぐのは難しいですが、その可能性など、今後の話し合いの中で、協議していきたいと思えます。ハンブの撤去は、まだしていません。現在はガードレールの修復・設置、※2チャッターバーの設置に費用をかけている段階です。コミック本について、非常に苦慮しています。非常に苦慮してはいますが、事前に止めるのは表現の自由の観点から難しいと思えます。また、事故については現在、捜査中であり、また、ギャラリーへの対策も立てていかなければならないと考えています。

について、それぞれ伺います。  
**答** 警察との協議について、生活道路であり規制は難しいとのことですが、地元住民との話し合いは、現段階では実施していません。夜間交通規制について、道路管理者として生活道路をふさぐのは難しいですが、その可能性など、今後の話し合いの中で、協議していきたいと思えます。ハンブの撤去は、まだしていません。現在はガードレールの修復・設置、※2チャッターバーの設置に費用をかけている段階です。コミック本について、非常に苦慮してはいますが、事前に止めるのは表現の自由の観点から難しいと思えます。また、事故については現在、捜査中であり、また、ギャラリーへの対策も立てていかなければならないと考えています。

## 石岡クリーンセンター建設に係る 損害賠償請求について



こまつ みよこ  
小松美代子

**問** 鹿嶋市の汚泥再処理センターに、鹿嶋市長が損害賠償を求めるという報道の中、石岡市の環境センターについて、私は、平成十九年の第三回定例会で、業者の談合によって、これだけの被害を被っているのだから、管理者として市長が調査して損害賠償請求をすべきではないか、と提言しました。そのときの市長の答弁は、「湖北環境衛生組合のことなので、調査をするかどうかということは控えさせていただきます。私はいずれも組合の議事を尊重しないわけではありませんが、やはり石岡市民が損害を被ったものは、一部事務

- その他の質問事項**
- 後期高齢者医療制度の導入実施に関連して
  - 地産地消と食糧自給率の向上について

**問** 鹿嶋市の汚泥再処理センターに、鹿嶋市長が損害賠償を求めるという報道の中、石岡市の環境センターについて、私は、平成十九年の第三回定例会で、業者の談合によって、これだけの被害を被っているのだから、管理者として市長が調査して損害賠償請求をすべきではないか、と提言しました。そのときの市長の答弁は、「湖北環境衛生組合のことなので、調査をするかどうかということは控えさせていただきます。私はいずれも組合の議事を尊重しないわけではありませんが、やはり石岡市民が損害を被ったものは、一部事務

**答** 石岡クリーンセンター建設に係る損害賠償請求について、湖北環境衛生組合では、六月三日に正副管理者会議を開催し、損害賠償請求に向けて準備中であります。当市としては、一部事務組合である湖北環境衛生組合の事案ですので、今後の推移を見ながら、構成団体としての対応が必要になれば、その時点で対応していきたいと思えます。

組合に任せるわけにはいかならないと思えます。当市として、どのようにお考えか伺います。

※1 ハンブ：道路の車道部分に半円状の起伏を付けて舗装したもの。  
※2 チャッターバー：道路の中央線上などに設置される、反射板などの付いた金属製の鉄。

消防行政について

救急業務の現状と今後の対策は



いけだまさひむ 池田 正文

**問** 本市の救急業務における、直近の救急車の出動件数について。また、配置される五台の救急車が全部出動した状況は年間どのくらいで、その場合の対応について。また、非救急利用について、どのような状況が具体的な事例とともに明らかにしていたかどうか。今後も救急システムを維持していくためには、何らかの対策が必要かと思いますが、どのようにお考えか伺います。

**答** 昨年の出動件数は三千七十五件で、急病が約五十八割で最も多い状況です。配備される五台すべてが出動中に要請があった場合は指令車な

どで出場し、あわせて最も早く現場に到着できる救急車を要請し救急活動を遂行します。二点目の非救急利用は非常に難しい問題で、例えば、人が倒れていたのでは救急車を呼んだが、軽症だったような場合、結果論として、救急車は必要ないとなりますが、通報者は大変だとの危機感から通報しており、軽症だから必要ないとは言いません。

問題は、最初から軽症とわかっていて要請することです。当市では、緊急の場合、通報時点では患者の状況がはっきりつかめないのので、出場することを原則としています。今後も様々な課題に配慮しながら、現在考えられる救急車の正しい利用法のPRに努めたいと考えます。

- その他の質問事項
- 農業行政について
- 総務行政について



ひろまさ 徳 増 千

**問** 石岡駅周辺整備について、①西友跡地の購入の考え。②東口を茨城空港口と名付けてはどうか。③都市整備機構を活用して、整備に着手してはどうか。④駅周辺整備推進審議会を立ち上げはどうか。⑤駅周辺整備の財源が確保できないということですが、石岡の将来を考えたとき、今やらなければ本当に遅れてしまいます。そこで、「ふるさとづくり基金」を活用してはどうか。これらについて伺います。

トなど問題があり、再利用は難しいと推測されます。東口については、茨城空港という通称名が定着すれば茨城空港口もよいのかなと考えます。都市整備機構が事業を展開するには中心市街地活性化法に基づく中心市街地地区に限られ、当市も認定を受けようと準備を進めています。駅周辺整備審議会については、財源確保に見通しがついた段階で検討すべきと考えます。基金の活用については、駅周辺整備に関しては「石岡駅周辺整備基金」がありますので、ここから充当するのが相応であると思います。現時点で基金の積み増しについては、決算剰余金などの状況を見極め、その確保に努めたいと考えます。

明日を拓くまちへ  
石岡駅周辺整備に向けて

**答** 西友跡の建物については、耐震性、アスベス

- その他の質問事項
- 行政経営システムについて
- 職員の勤務状況の把握と健康福利厚生を図る為にタイムカードを導入
- 災害時支援対策について



第3回 定例会のお知らせ



次回(第3回)定例会は、右記の日程で開催する予定です。ぜひ、傍聴にお出でください。

なお、表の「放映」欄に「有」と記載されている会議は、本庁舎と総合支所の1階ロビー、及びまちかど情報センターで生中継をご覧いただけます。こちらをご利用ください。

月日	曜	時間	主な内容	場所	放映
8月26日	火	午前10時~	議案の提案理由説明など	本会議場	有
9月 1日	月		一般質問	//	//
2日	火		一般質問	//	//
3日	水		一般質問	//	//
4日	木		議案質疑	//	//
5日	金		常任委員会(総務企画・教育福祉)	委員会室	無
8日	月		常任委員会(市民経済・都市建設)	//	//
9日	火		議会運営委員会	//	//
10日	水		議案の採決など	本会議場	有



ひろまさ 徳 増 千 尋

**問** 森林機能緊急回復整備事業について、全額補助ということ、これは主に八郷地域が該当すると思いますが、一回で全森林面積の何割までできるのか伺います。また、この事業は何年間か継続して行うのか、今回限りなのか。また、数年間実施しても、全体には及ばないと思いますが、その残った箇所について、中期的にどのように対応していくお考えか伺います。

**答** 今年度は、民有林五千五百十五畝のうち、間伐事業等を予定している面積が百四畝あり、民有林全体から見ますと整備率一・九割になります。

ります。対象の森林は、茨城県間伐促進全体計画調査の結果に基づき、民有林をA～Dの四ランクに分けたうち、優先すべきA判定の森林、全体で千二百一十一畝。その中で、水源かん養機能または山地災害防止機能が高い森林を優先し、実施計画を立てる予定です。事業期間ですが、現在、茨城県では森林湖沼環境税を五年間と設定していますので、この事業も五年間継続されると考えています。今後について、環境税などの関係もあり、先が見えない状況です。残りの箇所については、間伐等を行う茨城県森林環境保全整備事業がありますので、こういう事業も絡ませながら、進めていきたいと考えています。

議案第60号 ● 一般会計補正予算

森林機能緊急回復整備事業について

**その他の質問事項**  
● 産地づくり推進事業について



せき 関 昭

**問** 小・中学校の耐震診断について、以前から耐震診断は必要ということはおわかっていたと思いますが、三月に予算書ができた中で、今回どうして、この時期に耐震診断委託をすることになったのか、この状況の変化について伺います。また、補助金について、二分の一が三分の二になるといった新聞報道がありますが、合併特例債事業と合わせてどうなるのか。

今年に入り、学校耐震事業として認められる状況になったことから、今回、補正措置を計上しています。補助の内容については、※3 IS値〇・三未満の施設を対象に耐震補強工事が二分の一から三分の二、改築工事が三分の一から二分の一の補助率になるとのことですが、今後、詳細を調査し対応していきたいと考えます。今回の補正は、児童生徒の安心・安全を第一に耐震診断するというので、統合と全く切り離しての予算措置ですが、統合はあわせて進めていきたいと考えます。

ただ進めて欲しいと思いますが、どのようにお考えか伺います。

議案第60号 ● 一般会計補正予算

耐震診断実施への経緯について

**その他の質問事項**  
● 畑地帯総合整備事業について  
● 産地づくり推進事業について  
● 森林機能緊急回復整備事業について  
● 発掘調査委託料について



こまつ みよこ 小松美代子

**問** 一般会計補正予算書に、小学校費、中学校費の学校管理費として耐震診断委託料がそれぞれ計上されています。これに対応する歳入は、国庫補助金として三分の一の金額が計上されています。報道や、先の答弁でも補助金が三分の二に引き上げられ、各自自治体の負担は一〇割と言われています。これらのことから、合併特例債事業に組み込まなくてもいいという状況になったと考えます。国でも四川県大地震の結果を受け、早急に耐震化を図るとい方針です。市内の小・中学校の耐震化も予定を早めて耐震化を図るべきではないかと考えますが、どのようにお考えか伺います。

今年に入り、学校耐震事業として認められる状況になったことから、今回、補正措置を計上しています。補助の内容については、※3 IS値〇・三未満の施設を対象に耐震補強工事が二分の一から三分の二、改築工事が三分の一から二分の一の補助率になるとのことですが、今後、詳細を調査し対応していきたいと考えます。今回の補正は、児童生徒の安心・安全を第一に耐震診断するというので、統合と全く切り離しての予算措置ですが、統合はあわせて進めていきたいと考えます。

今回、補正予算に計上しました耐震診断経費の補助金につきましては、国土交通省の補助金を予定しております。ご質問のありました補助金の補助率の改正につきましては、耐震補強工事に対する補助金の改正内容となっております。補助率の変更が報道されており、今後、補助内容がどのようなものになるか確認させていただきまして、対応していきたいと思っております。

議案第60号 ● 一般会計補正予算

耐震診断の財源について

**その他の質問事項**  
● いばらき3人つご家庭応援事業費補助金について  
● ケアホーム重度障害者支援体制強化事業補助金について  
● 森林機能緊急回復整備事業について  
● 市道の認定について  
● 石岡市国民健康保険条例の改正について他

※3 IS 値：耐震診断調査によって得られる数値で、建物の耐震性能を示したものの。

# 常任委員会の活動

●石岡市議会には、四つの常任委員会が置かれています。委員会は、それぞれ担当する部門をもっていて、それぞれが、市の業務内容の調査や、議案と請願、陳情の審査などを行っています。ここでは、各委員会の活動内容をご報告します。

## ●市民経済委員会

### 「星ふる学校くまの木」(廃校利用)の視察調査

市民経済委員会では、廃校となった旧朝日小学校の有効活用を図るため、五月二十七日に先進地である栃木県塩谷郡塩谷町の「星ふる学校くまの木」を視察しました。

この施設は、明治七年に開校し、平成十一年三月末に廃校となった旧熊ノ木小学校の木造校舎を残したいという地元の要望から廃校利用した、宿泊型体験学習施設として活用している施設です。この施設はNPO法人が管理運営を行い、宿泊学習として年間約二千人



の利用があつて、少年野球チームの合宿や林間学校、都会の修学旅行などに利用されており、昨年からはオーストラリアからも生徒の宿泊学習として利用されているということでした。

この視察を受け、六月十六日の委員会において、体験グリーンツーリズムの拠点として地域の活性化による経済波及効果に結び付く取り組み、宿泊型に改修しない中での対応、管理運営等についての検討がなされました。市としては、宿泊については、国民宿舎つくばねやオートキャンプ場との連携を図り、民泊も視野に入れ推進していきたいということでした。

また、第二回定例会において、当委員会には、森林湖沼環境税の活用による森林機能緊急回復整備事業といたしまして、水源かん養・土砂流出防止・保健休養など、これらを回復させるための間伐作業として補正予算案が付託されました。委員からは、場所の選定の方法や間伐後の処理について質疑がありました。市としては推進員十二名を選任し、県の間伐推進全体計画調査に基づき、現地調査等を行い、間伐する森林の選定をし、



### 川又地区の土砂搬入の現状について

をしていくこととしました。また、第二回定例会において、当委員会には、森林湖沼環境税の活用による森林機能緊急回復整備事業といたしまして、水源かん養・土砂流出防止・保健休養など、これらを回復させるための間伐作業として補正予算案が付託されました。



間伐材については、山林の中に集積箇所等を設けていくということでした。委員会としては、全会一致で、付託された補正予算案を原案可決すべきものと決しました。次に、当委員会では、前回に引き続き川又地区の土砂埋立て問題について、現在の取組み状況等の報告を求め、問題解決に向けた審査を行ないました。市の担当としては、五月二十日と五月二十一日にかけて土砂搬入を了解した山林所有者と農地改良届出者宅を訪問し、その後の進展状況について聞き取り調査を実施した旨の報告がありました。

進入路に当たる山林所有者は隣接地に影響を及ぼしているため、施工業者に対し、内容証明郵便で現状回復のための撤去を依頼する文書を郵送したということでした。また、農地改良届出者についても、隣接地に被害を及ぼしていることから、農地改良届出者の当事者の自覚をもって、施工業者に対し、土砂の撤去について内容証明付きの郵便を送付しているということでした。さらに、市の法律相談において、改良届出者としての責任・責務について話し合っていくという説明がありましたが、また、隣接地権者からの要望事項等の説明がありました。今後は、関係部署とともに調整を密にし、施工業者等に対し、土砂の撤去をするように求めていきたいという考えが示されました。それを受け、委員会としては、問題解決のため、さらに調査を進めていくこととしました。

## ●総務企画委員会

### 総合窓口の整備について

来年一月五日の開設に向けて準備が進められている総合窓口の整備の検討状況について、六月十三日に調査を行いました。

総合窓口の整備については、総合窓口設置検討委員会が今年二月に組織され、検討が進められており、執行部からは、総合窓口で処理する事務や手続きの流れなど検討委員会での検討状況について説明がありました。

具体的な検討事項として、来客者にわかりやすい窓口にするために発券機やフロア案内を置くこと。手続きにかかる時間を短くするための申請書の見直しやスムーズな手続きの流れをつくることなどの案が示されました。委員からは、総合窓口の職員数や課の配置、また、来客者の移動が多いのではないかなどの質疑のほか、来客者の負担の

軽減のため、さらなる時間の短縮とワンストップサービスを目指して検討を重ねてほしいとの意見が出されました。

さらに同日の委員会において、今年二月から三月にかけて実施した市民満足度調査の結果について執行部から報告を受けました。

また、第二回定例会において付託された三議案について審査を行い、いずれの議案も全会一致で「承認すべきもの」、「原案可決すべきもの」とすることに決まりました。



## ●教育福祉委員会

### 統合保育所の建物配置についての調査

市で現在計画している

統合保育所（柿岡・葦穂・恋瀬・瓦会・林保育所を統合）の建設について、当委員会では、これまで建設予定地を調査するなど、慎重に審査を行なってきました。

執行部から示されている計画としては、場所を柿岡地区の農村高齢者センター敷地内とし、平成二十一年度中に着工、平成二十二年四月には開所したいとのことでありました。

当委員会ではこれまで、統合保育所が、建設予定地にある二施設（農村高齢者センター・福祉作業所）の間に配置されることについて様々な意見が出されました。

六月十三日に開かれた委員会では、子供たちにとって良好な環境を確保するため、既存二施設の撤去・移転を検討すべき

ではないかとの意見が各委員から出され、これに対し執行部からは、既存施設を残したままでも十分な面積が確保できるとし、さらに施設の撤去・移転には、補助金の返還や移転先の改修など、多額の費用がかかるとの考えが示されました。

委員からは、子供たちのための環境整備を最優先に考えるべきだとし、既存施設の撤去・移転について、費用の見積りも含め、再度検討を求め意見が出されました。

そのほか、第二回定例会で付託された四議案については、全会一致をもって「承認すべきもの」、「原案可決すべきもの」と決し、付託されている陳情一件については、引き続き継続して審査することとしました。

## ●都市建設委員会

### （仮称美野里・八郷線の市道認定について

六月十六日の第三回委

員会では、付託された議案、都市建設部所管の合併特例債事業（仮称）美野里・八郷線の一部区間、小美玉市羽鳥地内にかかる区間八十五メートルについて、市道認定の審査を行いました。この路線区間については、石岡市が小美玉市内に整備することになることから、事前に小美玉市議会の議決、小美玉市長の承諾を受けています。

審査に当たり、現地の確認を行いました。その後の委員会で、整備後の管理についてどうなるのかといった質問に対して、執行部からは、今後の協議の中で決めていく、との説明がありました。

あわせて、付託された議案「石岡市営住宅管理条例の一部を改正する条例を制定することについて」の審査を行ないました。付託された二議案とも、全会一致で「原案可決すべきもの」と決まりました。

次に、所管事務の調査としまして、「石岡市耐震

改修促進計画(案)」について説明を求めました。これは、市内の既存建築物の耐震性能の向上を図り、地震災害に対して、市民の生命・財産を守ることを目的とするもので、目標値の設定など耐震化へ向けた取り組みを行うため策定された計画です。当委員会では、内容について質疑を行った結果、この計画について了承することとしました。

### 議会は、岩手・宮城内陸地震の被災者へ義援金を送付しました

六月中旬、議会は六月十四日に発生した岩手・宮城内陸地震で被災された方々に対し、義援金を送付しました。送付先は日本赤十字社。金額二十七万円（正副議長一万五千元・議員一万円）。

# 請願 & 陳情

第二回定例会では、皆さまからご提出いただいた次のような請願・陳情を審査しました。なお、「審査結果」に示す各語の意味は、次のとおりです。

**採 択**……請願・陳情に示された願意が妥当で、かつ、実現の可能性も見込める等と判断したものである。  
**不 採 択**……右記以外のもの。  
**継続審査**……引き続き次期定例会までの期間に審査する場合があります。

## 以前から継続して審査を行ってきた請願・陳情

各請願・陳情の要旨は、お手数ですが市議会ホームページ（アドレスは本紙「下段」枠外）参照の本紙バックナンバーでご確認ください。

### 道路改良についての陳情（瓦谷地区）

付託 平成十九年

第三回定例会

**要旨** 本紙第十一号に掲載都市建設委員長報告の要旨地元の方々にとつて、この道路は必要不可欠であるという委員共通の認識がある一方で、現地を確

認した中で、道路幅員はある程度確保されており、早急に事業を実施するというような緊急性があるとは認められないとの意見があった。その後の採決の結果、陳情に賛成する委員はなく、不採択と決した。

審査結果 **不採択**

### 石岡市立北小学校本館改築促進についての陳情

付託 平成二十年

第一回定例会

**要旨** 本紙第十四号に掲載経過 教育福祉委員会で継続審査中

### ゴミ集積所の設置基準の見直しについての陳情

付託 平成二十年

第一回定例会

**要旨** 本紙第十四号に掲載経過 提出者の申し出により取り下げ

### 十五単・市道三〇五四号線の一部分の拡幅と排水工事についての陳情

付託 平成二十年

第一回定例会

**要旨** 本紙第十四号に掲載経過 都市建設委員会で継続審査中

# 意見書

第2回定例会で可決し、関係機関へ送付した意見書は次のとおりです。

## 長寿医療制度（後期高齢者医療制度）の改善を求める意見書

【要旨】高齢者が安心して医療を受けることができるよう、国において、低所得者へのより一層の配慮など、負担の軽減を図るとともに、制度導入後の状況を十分把握、検証し、改善すべき問題点を明らかにしたうえで、早急に必要な措置を講ずるよう強く要望する。

送付先：衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・厚生労働大臣

## 第3回定例会で

## 「請願」「陳情」の審査をご希望の方は

**8月7日(木)**  
**午後5時30分**  
までにご提出ください

現在、請願・陳情の提出を考えている方で、8月26日～9月10日開催予定の第3回定例会での審査をご希望の方は、議会運営委員会開会日の前日（8月7日(木)）の午後5時30分までに、議会事務局へ提出してください。8月8日以降の受付分については、次回（第4回）定例会以降での審査となりますので、注意してください。

※請願・陳情は、市役所本庁舎の開庁中ならいつでも受付をしています。

### 書式について

書式等に、特に決まりはありません。請願・陳情の要旨（市や市議会に対して、どのような理由でどのようなことを求めるか）を簡潔に書いてください（道路や側溝などの整備を求める場合は、略地図を添付していただければ幸いです）。

なお、提出者の方は氏名（署名もしくは記名・押印）、住所を明記してください。